

百里基地・茨城空港対策 特別委員会会議録

令和元年9月5日(木)本会議終了後
小美玉市役所 3階 議会委員会室

小美玉市議会

百里基地・茨城空港対策特別委員会

令和元年9月5日(木)本会議終了後
小美玉市役所 3階 議会委員会室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 議長あいさつ

4 市長あいさつ

5 協 議

①百里基地対策について

②茨城空港対策について

③視察研修報告について

④その他

6 閉 会

出席委員（11名）

1番	村田春樹君	2番	鈴木俊一君
4番	植木弘子君	5番	石井旭君
8番	長島幸男君	11番	藤井敏生君
13番	大槻良明君	14番	関口輝門君
15番	笹目雄一君	18番	市村文男君
19番	荒川一秀君		

欠席委員（なし）

付託案件説明のため出席した者

市長	島田穰一君	都市建設部長	関口茂君
基地対策課長	大原光浩君	基地対策係長	真家広幸君
産業経済部長	矢口正信君	空港対策課長	小川和夫君

議会事務局職員出席者

局長	我妻智光
書記	深作治

午後 2時58分 開会

○副委員長（植木弘子君） 改めましてこんにちは。

皆さんお揃いですので時間前でございますが、ただいまから、百里基地・茨城空港対策特別委員会を開催いたします。

はじめに、委員長あいさつ荒川委員長お願いいたします。

○委員長（荒川一秀君） 改めましてどうもご苦労さまでございます。

一般質問に続き大変お疲れのところ、引き続き大変ご苦労さまでございます。

それでは、百里基地・茨城空港対策特別委員会でありますけども、先日の研修等がありまして、その辺のところを踏まえまして、大変熱心に研修させていただきまして本当にご苦労さまでございました。そういう意味からしましてきょう反省を踏まえ、そしてまた、百里基地、茨城空港に対しましてもさらなる発展、そして、小美玉市の発展になることにつきまして、ご協議のほどよろしくお願い申し上げましてあいさつといたします。大変ご苦労さまでございます。

○副委員長（植木弘子君） ありがとうございます。

続きまして、議長あいさつ市村議長お願いいたします。

○議長（市村文男君） 改めて皆さんこんにちは。

本会議に引き続きまして、百里基地・茨城空港対策特別委員会ということで、お疲れのところ大変ご苦労さまでございます。

ただいま、委員長からありましたように議案4つということで、それぞれ慎重なご審査をいただきたいなと思っております。本日は大変ご苦労さまでございます。

○副委員長（植木弘子君） ありがとうございます。

続きまして、執行部を代表いたしまして島田市長よりごあいさつをお願いいたします。

○市長（島田穰一君） それでは、百里基地・茨城空港対策特別委員会、本会議に続いての委員会お疲れの中ご苦労さまでございます。

また、茨城空港に関しましては一般質問にもありましたように、茨城空港アクセス道路の一部共用開始進めている最中であると説明させていただきました。また、ご支援の言葉をいただいたり、非常にいい状況で進められているところでございますが、残念なことに航路が韓国との関係で一時的に取りやめになるという情報があるわけありますので、早くにそういう問題が落ち着いていただけるように願っているところでございますし、また、基地のほうでも順調

にいま、運営されているということでございます。

また、きょうは、研修の反省も含めてということでございます。研修に参加できませんでしたけれども皆さま方大変ご苦労さまでございました。研修の成果がこれからの百里基地・茨城空港対策特別委員会に反映、そして、全体に反映することが何よりも大事でありますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。ご苦労さまです。

○副委員長（植木弘子君） ありがとうございます。

それでは、協議に入ります。

進行は荒川委員長お願ひいたします。



1. 百里基地対策について

○委員長（荒川一秀君） それでは、わたしのほうで議事を進めてまいりたいと思ひます。

まず、1. 百里基地対策について議題といたします。

基地対策課より報告をお願いします。

○基地対策課長（大原光浩君） 基地対策課長の大原でございます。よろしくお願ひいたします。着座にて説明させていただきます。

それでは、資料1をご覧ください。1ページお開きいただきまして、基地対策に係る要望活動等についてでございます。

この資料の内容でございますが、今年度島田市長、市村議長を初め、百里基地・茨城空港対策特別委員会委員の皆さまによる要望活動とその回答をまとめたものでございます。

1. 百里基地申し入れについて、令和元年7月8日航空自衛隊百里基地へ基地周辺の騒音軽減に向けた改善策等の申し入れを実施しました。順次申し入れ事項、百里基地の回答順で説明をさせていただきます。

1. 基地周辺の騒音の実態を真摯に受け止め、改善に向けて尽力すること。

・申し入れ内容を真摯に受け止め、努力していく。夜間のエンジンテストについて、急を要する場合を除き、深夜早朝の実施を控えるよう努めている。また、模擬空対地射爆撃訓練については、1回の訓練時間を可能な限り短縮する等、騒音軽減に努めている。

2. 昼12時から13時の時間帯での飛行自粛が一過性のものではなく、さらなる改善に向けた検討を継続すること。

・8月の1ヶ月間において昼12時から13時の時間帯での離陸制限等を実施していく。

3. 度々発生している戦闘機訓練中の部品落下事案については、安全飛行の確保、点検整備の強化等すること。

・入念かつ確実な点検等を継続するとともに、飛行安全には万全を期するよう努めていく。

4. 航空祭に向けた飛行訓練についてが、飛行ルートや訓練時間に十分配慮すること。

・航空祭に向けた飛行訓練については、これまでどおり速やかな情報提供に努めるとともに、飛行ルートや訓練時間の配慮に努めていく。

5. 航空祭開催に向け、昨年はパークアンドバスライドを実施し交通渋滞が緩和されたが、引き続き地域住民の理解を得ながら、更なる万全の対策を講じること。

・昨年度の反省を踏まえた改善を検討するとともに、今年度も引き続きパークアンドバスライドを計画し、基地周辺の渋滞緩和に努めていく。

続きまして、2ページをお開きください。

2. 三沢市視察研修について、令和元年7月17日～18日航空自衛隊三沢基地の飛行運用に関する事や地域住民との関わり方や独自の取り組みについて、三沢市の基地対策（住民対策）の取り組みや基地対策関係補助事業などを研修いたしました。

資料につきましては、別紙資料三沢市防衛施設周辺対策事業一覧表をご覧ください。

この一覧表は、三沢市視察時に質問に対しまして三沢市から回答を得たものを抜粋いたしまして一覧にまとめたものでございます。内容につきましては、補助事業を活用したため池整備、農業用機械の整備、農業用施設の整備内容でございます。一番表左から防衛施設名、事業主体名、事業名、適用条項こちらについては、環境整備法の第何条かということで書いてございます。単年・継続別、事業内容、全体事業費の補助率、補助額、実施年度等が記載してございます。回答いただいたものにつきましては、一覧表のうしろに添付させていただきますので、あとでご確認のほどお願いいたします。

続きまして、2ページの3. 防衛省北関東防衛局陳情についてご覧いただきたいと思っております。

令和元年7月30日、本市に所在する航空自衛隊百里基地に起因する障害等に対する諸施策、措置等周辺対策について、防衛省北関東防衛局へ陳情活動を実施しました。陳情事項、北関東防衛局の回答順で説明をさせていただきます。

1. 百里飛行場の民間共用化に伴う地域振興等について

・具体的な要望を伺いながら制度と照らし合わせ対応可能なことについて追求していく。また、不測の事態などにおいて、西側区域に影響がでた場合は騒音状況を把握していく。

2. 基地周辺障害防止対策について

- ・テレビ受信料の廃止は制度見直しに伴い、引き続き地域住民の方へは丁寧な説明をしていく。
また、電話受信料に関する措置については、難しい旨のご理解を頂きたい。

3. 防音事業関連維持事業について

- ・本省に伝えていく。

4. 住宅防音工事の助成について

- ・住宅防音工事の工事期間については期間短縮、早期に対応していく。工事内容の改善については、技術的検討をおこなう。空調機器、防音建具の機能復旧工事は早期に努めてまいりたい。太陽光発電システムについては、制度上難しい旨ご理解いただきたい。騒音測定機の増設については、百里基地の配備機種の変更により影響ができれば対応していく。防音工事対象区域の拡大については、今後の課題として検討していく。

5. 移転の補償等について

- ・実態を勘案していくが、難しい旨ご理解いただきたい。

6. 障害防止対策事業及び民生安定施設整備事業について。

- ・概算要求として本省に要望し、予算確保に努めていく。

7. 特定防衛施設周辺整備調整交付金について

- ・交付額の算定に時間がかかっている旨をご理解いただき、引き続き努力していく。

8. 農耕阻害失補償について

- ・損失補償の対象範囲等の内容変更は難しい旨、ご理解いただきたい。また、補償額の最低補償についての制度見直しは本省に伝えていく。

9. 再編関連訓練移転等交付金について

- ・予算確保の努力と交付金内示においても、早期に示せるよう努力していく。

10. 関連機関への申し入れについて

- ・基地運用等に対して、速やかな情報提供や対応、航空際の交通渋滞緩和に向け万全を期し、基地に申し伝える。防衛省管理地の除草作業は定期的管理に努めていく。基地要望に関しては幕僚幹部に伝え、要望に沿えるよう適切に努めていく。

11. 訓練移転に係る安全対策等について

- ・日米共同訓練実施の際は現地対策本部を設置し、地域住民の安心、安全を確保する。また、訓練移転等の情報開示は速やかに実施し、オスプレイの訓練参加は計画承知していない。
続きまして、4ページをお開きください。

航空自衛隊百里基地に関する令和2年度概算要求の主要事業についてでございます。来年度

の百里基地の部隊の移動に関する内容でございます。この資料につきましては、先月8月30日に北関東防衛局から情報提供をいただいたものでございます。

1. F-4の飛行隊の整理

(1) F-4の用途廃止

F-4戦闘機については長期にわたり使用してきており減勢が進んでいる中、その後戦闘機としてF-35Aを着実に取得してきているところ、F-4を令和2年度に用途廃止することとしています。

(2) F-4飛行隊の整理等

令和2年度には、F-4飛行隊を整理し、三沢基地においてF-35A飛行隊として編成することとしています。

なお、令和2年度末に13個目の戦闘機部隊(F-15)を新設する計画については見直すこととし、現在、今後の体制を検討していることから、決定次第、あらためてお知らせいたします。

5ページをお開きください。

2. 百里基地の定員の増減

百里基地全体の定員については、令和2年度概算要求における各種事業等により、以下のとおりとなる予定です。令和元年度末定員数約1,840名、令和2年度末定員数約1,420名、約430名の減になるとのことでございます。

以上報告させていただきました。よろしくお願いたします。

○委員長（荒川一秀君） ご苦労さまでした。説明が終わりました。これについて何かご意見、要望等がございましたら挙手のうえよろしくお願いたします。

○5番（石井 旭君） 三沢の研修に行ったときなんですが、三沢市のほうでは確か春と秋に防衛省と管轄うちの北関東防衛局ではないですけど、本省と両方春と秋1回ずつ行っているとなっているんですけど、うちのほうでも防衛省のほうにも陳情に行ったほうがいいんじゃないかと思うのですが、その辺について皆さんに協議していただきたいと思うのですが、執行部のほうではどのように考えているかお願いたします。

○基地対策課長（大原光浩君） ただいまのご質問でございますが、これまではうちのほうとしましては北関東防衛局への陳情のみを行ってききましたが、以前にも防衛省にも陳情してはどうかという委員さん方からのご意見もございまして、その辺につきましては今後検討していきたいと思っておりますのでよろしくお願したいと思っております。

○5番（石井 旭君） よろしくお願ひします。

○8番（長島幸男君） さきほど説明がありましたが、百里基地の定員減ということで、これは430名減っちゃうのかな。というのは、これから見ると第301飛行隊関係と偵察航空隊が廃止になると、この部隊だけでこうあるのかここら辺ちょっとわかりましたら。

○基地対策課長（大原光浩君） ただいまのご質問でございますが、定員数減ということで430名減、今年度につきまして偵察航空隊の廃止ということをお聞きしております。

また、来年度につきましては、第301飛行隊こちらF-4部隊なんですけど、こちらが三沢基地へ移動するというので、詳細につきましては以前国のほうに確認したんですが、この辺のところ偵察部隊が何名、F-4部隊が何名ということは聞き取れませんでしたので、今後の予定としましては、この430名減ということをお聞きしております。以上でございます。

○8番（長島幸男君） パイロットだけではなくて、そのほかいろんな整備とかいろんな方がいると思うので、そこら辺わかりましたらあとでお願いしたいと思います。

もう1つ、最近大原課長のほうから百里基地の飛行機関係、練習とかいろんな連絡をいただいているのですが、前もいまのような形で何回かあったのかな。課長になってからこと細かく通知をいただいてわたしらも基地に近いので、特殊な飛行機とか飛んでいるときにあれなんだろうと言われたときにそういう連絡をいただいているのでわかるので、そういうことでありがとうございました。よろしくお願ひします。

○委員長（荒川一秀君） ほかにございますか。

それでは、ないようですので、百里基地対策については以上で終わりにします。



2. 茨城空港対策について

○委員長（荒川一秀君） 次に、2. 茨城空港対策について議題といたします。

空港対策課より報告をお願いします。

○空港対策課長（小川和夫君） 空港対策課小川でございます。お手元にお配りさせていただいております資料2の茨城空港の利用状況等についての資料に基づきましてご説明をさせていただきます。着座にて失礼します。

資料をおめぐりいただきまして、まず、1ページのほうで、7月末までの来場者数の状況ということでございます。まだ8月末のデータがあがってきておりませんでしたので、7月末でつくらせていただいております。7月末令和になりまして50万2,900人ということで、累

計は1,194万5,900人ということで、こちらは空港来場者、搭乗者数を含めた数字でございますが、着実に増えている状況でございます。下の段は月別状況でございます、4月から7月にかけて全体で前年比5.1%増という状況でございます。

また、一番下の行でございますが、こちらは国土交通省 東京航空局の確定数字で載せてございます関係上6月までの数字でございますが、搭乗者数は19万3,911人ということで、前年度同期比で比べましても12.6%増とこちらも搭乗者自体も確実に伸びている状況でございます。

ページをおめくりいただければと思います。2ページでございます。

こちらは茨城空港のエアライン就航状況の関係で、特に今回は10月27日から令和2年3月28日にかけて約5ヶ月間、毎年世界規模でダイヤ改正が行われております。冬ダイヤと呼ばれておるものでございます。こちらのダイヤ改正の状況につきまして国内線と国際線の状況をお示しさせていただいております。国内線はスカイマーク社、札幌2往復、神戸は皆さまご承知のとおり8月1日から3便になりまして、引き続き3便で運行するというところでございます。福岡が1往復、那覇が1往復でございます。時間帯につきましてはご覧いただいているような形で、今年の冬ダイヤと同じくいままでは神戸便が1日の一番早い便でございましたが、冬ダイヤに変わるということで、福岡便が1日の一番早い便ということで、変更という形になります。国際線につきましては、上海便、また、台湾便につきましては、各社のホームページから出ている予定時刻を記載させていただいております。

なお、先ほど市長からのごあいさつの中にもございましたが、韓国イースター航空につきましては、7年ぶりに昨年復活したわけでしたが、日韓関係等の諸事情により9月19日から運休に入るということでございます。

なお、正式には10月26日までの運休ということでございますが、県のほうに確認しております状況ですと10月27日以降については未定ということで、運休になる可能性が高いということでございます。

なお、イースター航空につきましては、茨城便ほか7空港におきましても運休が決定をしている状況でございます。

続きまして、ページをおめくりいただきまして、3ページをご覧ください。

こちらは国内線チャーター便の運行につきまして記載させていただいております。上段の9月から10月につきましては、前回の報告時に若干ご説明させていただいておりますが、再度掲載させていただいております。また、11月から12月までの新規追加分ということで、各国

内の就航先のほうへのチャーター便が予定されております。

なお、こちらの南紀白浜チャーター便をもちまして、昨年度は 60 便のチャーター便運行でございましたが、62 便ということで、昨年度をこちらの白浜便で上回る状況でございます。

ページをおめくりいただければと思います。4 ページでございます。

こちらは、茨城空港の駐車場関係の表示の変更等の内容についてご説明をさせていただいたと思います。本年5月から6月にかけて、駐車場の表記のほうの変更を行っております。第1駐車場、第2駐車場という表示は変わってはございませんが、新しく看板のデザインを変えまして、いままで臨時駐車場と呼んでおりました駐車場につきましては、正式に第3駐車場という表示を設けてございまして、お客様にご案内をしているということでございます。その理由としましては、見学者の方、また、バス等利用者の方には第3駐車場という形のご案内を徹底して行っていくというお話がございまして、それに伴いましてこのような看板表示のほうへ変更になっております。若干写真が小さくてわかりづらくて恐縮でございますが、よろしく願いいたします。

ページをおめくりいただければ幸いです。

資料5ページと6ページにつきましては、関連していますのであわせてご説明させていただきます。

国内線の到着側でございます。皆さまの手荷物受け取り所のトイレにつきましては、従前よりトイレの数が少なくお客様からの要望も多くありました。それに対応すべく男子トイレが5ページ、女子トイレにつきましては6ページということで、1つずつ便座を増やさせていただいたということで、空港ビルのほうより聞いております。工事は既に7月中に完了して運用している状況でございます。茨城空港の状況につきましても資料に基づくご説明は以上でございます。よろしく願いいたします。

○委員長（荒川一秀君） 説明が終わりました。これについて何かご意見、ご要望があればお願いします。

○8番（長島幸男君） 4ページなのですが、ここの緑色で染めてあるのは何かあるんですか。

○空港対策課長（小川和夫君） 申し訳ございません。これは元のデータで本来でありますと航空広場というところを、現在駐車場として臨時的に使っている場所で、データ上ほかのデータがございませんでしたので色付きになっている状況でございますが、特別な意味をしているというわけではございませんので、ご理解いただければと思います。

○8番（長島幸男君） わかりました。この航空広場の下あたりは当初空港の説明があるときには多目的広場ということで、サッカー場と野球場をつくるということで地元の説明があったのですが、幸い利用者が多いのでここも駐車場に現在なっているということで、ほぼ多目的広場サッカー場の面積が少なくできないという状況のようですね。それと、この左側の細長く三角みたいのがありますよね。ここはおそらく県の所有地と防衛省の所有地だと思うんですよ。

○空港対策課長（小川和夫君） いま、長島議員さんよりご説明いただいたとおりでございます。緩衝帯ということでこちら若干盛り上がっているところでございまして、議員さんからのご説明のとおりでございます。

○8番（長島幸男君） それでここに知っている方は車で遠いところからここに来て10何台かはいつも飛行機を見ていると。ちょうどこの下の航空自衛隊百里基地の滑走路辺りが着陸する場所かな。そういうのと手前の緑っぽいのはここまでいって旅客機はここからまた右のほうへ飛行するというので、ここにいると着陸と離陸が見えるところなんでね。だからわたし前も話したんですが、ここの緑色の長い三角あたりを何とか綺麗にしてここに見学場所をきちんと整備して、前も大阪かな行ったときに小高い丘で遊園地みたいな形で保育園の子どもらも遊んでいたりした場所があるんでここ結構広いんですよ。あとはこの白いところ地元の方がほとんどもっている土地なので、ここらを開発してあれしたほうがいいのかなど思っているのですが。以上です。

○委員長（荒川一秀君） ほかにどうですか。

○4番（植木弘子君） いまのご説明のほうで、第3駐車場が県のほうで見学者、バス利用者用に徹底していくということですが、あそこは舗装されていなくて、また、碎石というか砂利もかなり大きいやつが置いてありまして、バス利用者の方でも東京のほうに行くのにキャリーバックとか持たれているんですけども、砂利道でせっかくのキャリーバックなんだけども、それを引っ張ることができなくて、小さいお子さんとかが危なげに歩いているというのを何回か見かけたので、こういった形でバス利用者ということも考えていらっしゃるし、また見学者というものもあるので、その辺整備というのが県のほうでどのように考えているのかできればきちんと第3駐車場として銘打って運用していくのであれば、やはりもう少し整備していただきたいということで要望しておきます。お願いいたします。

○空港対策課長（小川和夫君） いま、植木副委員長からお話がありました第3駐車場の砂利につきましては、空港の関係者の方、また、県の空港対策課の方のほうに前にもそのような

話を受け賜っておりましたので、お伝えして予算措置をしていただいで仮路盤ではないですけども、いま、おっしゃられました大きな砂利ではなくて細かい砂利でてん圧をかけていただいで、利用する方の利便性の向上に配慮をしていただきたいと話をお伝えさせていただきます。ご理解のほどよろしくお願ひいたします。以上です。

○委員長（荒川一秀君） ほかにございますか。課長この写真を見たところで矢印看板こういうやつじゃなくてももう少し綺麗なのをつくったら。観光一番みんな来るところへ貧乏の工事会社の感じがするんだよね。取り替えてくださいよ。幾らもしないでしょ。

○空港対策課長（小川和夫君） 空港対策特別委員会のほうで、そういったご意見を賜ったということで、空港関係者の方にお伝えさせていただきたく考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

○委員長（荒川一秀君） ありがとうございます。もう1つ観光とか見学で来る人と空港利用者と、駐車場の整備も前に出ましたよねいろいろ。何かいい方法があるかどうかその後どういうふうになっているのかな。話し合いとか。

○空港対策課長（小川和夫君） 搭乗される方と見学者の方、また、バスを利用者の方というような方との駐車場の使用区分のお話ということでよろしいかと思うのですが、最終的には機械化という考えも県のほうで検討したようではございますが、コスト面の部分で難しいという形になりまして、まず、表示を強化するというので、今回このように表示を明確に第3駐車場のほうへ見学者の方、バス利用者の方は回ってくださいということで、まず、第1段としてこの表示を強化させて、その後の状況を見ながら、また、新たな対応をうたっていくというふうにお聞きしておりますので、よろしくお願ひいたします。

○委員長（荒川一秀君） ありがとうございます。空港便に対してはさきほど市長からもお話がありましたように、韓国という国は東日本のときもすぐパッとやめちゃったしね。いろいろ国際情勢とかあるので大変だと思いますが、致しかたないのかと思っております。是非とも民間レベルとか政治レベルいろいろあるでしょうけど、回復して韓国便がまた元に戻ればいいのかと思っております。同時にわたしの考えなんですけど、いま、小美玉市市議会は海外研修をしていない。1回だけ春秋空港が線をおこしたときに、市長も一緒に社長のところへ表敬訪問で行ったのがあるんです。それだけなんです。さきほども話しましたがどんどん政務調査費を付けてもらって、そして海外研修をやるべきだとわたしは美野里時代は行ったんだけども合併してからは。その辺は委員会だね。今度改選ですから12月の議会ではそういうふうな雰囲気をつくって行って、議会もそういうふうな勉強をして海外の勉強をしようというふうな利用、

活用してと思うんです。わたしの提案ですがそういう形でもし皆さん方全員が 12 月に顔を合わせたときに、また、同じ委員会になるかはあれですけども、是非よろしくお願ひしたいなと思います。

ほかにありませんか。ないようでしたら、茨城空港対策について終わりにしたいと思います。



3. 視察研修報告について

○委員長（荒川一秀君） 次に、3. 視察研修報告について議題といたします。

7月17日から18日にかけて、執行部から大原基地対策課長に同行いただきました。

また、百里基地からは管理部長さんともう一人一緒に来ていただきまして、三沢基地への表敬訪問と現地視察、それから三沢市の基地対策について視察研修したわけでありましたが、報告書をまとめてありますので見ていただいていたかがでしょうか。ちょっと時間をとります。ご意見がありましたらよろしくお願ひいたします。事務局のほうで朗読する。出番あげるから。

○書記（深作 治君） それでは、資料のほう1ページ目につきましては、皆さんご存知のとおり行程と視察内容、目的等になっておりますので省略させていただきます、2ページのほうになります。ページめくっていただきまして、①につきましては航空自衛隊三沢基地ということで、委員会の研修報告をまとめたものでございます。三沢基地の概要について、所属部隊とその任務、対米軍の状況、日米共同訓練、地元とのつながり、騒音対策等について研修をしました。三沢基地は、米空軍66%、航空自衛隊2%の占有となっており、日米共用は滑走路などの部分であるところのご説明を受けました。三沢市の人口4万人弱に対して、米軍人が約3,400人、ご家族の方を含めると約8,400人が在日していると説明を受けたところでございます。米軍・空自ともに災害派遣やいろいろなイベントを通して地元とのつながりを形成しているというお話でございました。騒音対策につきましては、21時から翌朝7時の間及び日・祝日の飛行訓練の自粛、市街地の飛行自粛、特定行事日の飛行自粛をしていると説明を受けたところでございます。

また、ケーブルテレビ、三沢市防災メールなどでの情報提供などを行っており、騒音区域には集団移転等を行っているということでございました。騒音苦情につきましては、比較的少ないと感じているということでございましたが、甘んじることなく騒音を出さない配慮は続けていくというお話をいただいたところでございます。基地周辺の住民に対する航空自衛隊の対応策につきましては、どこの基地も変わりがないように見られまして、三沢基地独自の対応策は

見当たらなかったということで報告書がまとまっていると思います。その次に主な質疑ですが、こちら各議員さんが当日基地に対して質問したものを簡単にまとめたものでございますので、こちらのほうがご一読いただきたいと思います。

次ページになりまして、②基地対策について、三沢市の研修内容となっております。三沢市と基地の関係について防衛省補助事業の内容や防衛省要望などについて研修をいたしました。三沢基地につきましては、三沢市の面積 119.87 平方キロメートルのうち、提供面積 22.15 平方キロメートルと市の総面積の約 5 分の 1 を占めているということでございます。全国でも数少ない米軍、航空自衛隊、民間航空機が共同で滑走路を使用する特殊な空港施設がある大空のまち、また、異国情緒漂う国際都市として独自の発展をしているというお話でございました。

予算につきましては、歳入予算総額 221 億 2,300 万円のうち、基地関連予算は国庫支出金環境整備法の 3 条補助金 1 億 6,100 万円、8 条が 1 億 4,000 万円、9 条交付金 9 億 1,200 万円、再編関連訓練移転等交付金 6,000 万円の計 12 億 7,300 万円、基地交付金 21 億円を合わせた 33 億 7,300 万円となっているということで、歳入全体の約 15% というお話でございました。歳出につきましては、2,756 万円はそのほとんどが町内会への交付金・補助金で、そのほかに、騒音測定器の維持管理費、旅費などとなっているという説明を受けたところです。そのほかに市に寄せられる基地に対する苦情は、年間騒音発生回数 22,000～34,000 回のうち 300～500 件で、主な騒音に対する苦情であるとのことでしたが、苦情内容は市から基地へ伝達し情報共有をしているということです。防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律による主な事案は次のとおりで朗読します。

第 3 条、障害防止工事の助成では、市内小中学校の防音工事、テレビ共同受信施設の設置、河川改修及びため池の整備。

第 4 条、住宅防音工事助成事業では、近年国の予算確保により工事件数が増えている。

第 5 条、移転先地公共施設整備事業では、スポーツや市民の憩いの場として利用できる施設を整備して活用している。

第 8 条、民生安定施設助成では、市庁舎を含めた周辺の公会堂、図書館、武道館、農・漁業施設、消防施設、ごみ処理施設及び市道整備ほか公共施設が整備されている。

第 9 条、特定防衛施設周辺整備調整交付金では、交通、スポーツ、医療施設等、公共施設の整備を進めている。また、法改正をうけ、小中学校の医療費や保育所の指定管理料に交付金を充当している事例があった。

再編訓練移転等交付金では、公共施設整備や妊婦検診・がん検診への助成に活用している。

市民へ訓練予定などを市HPや防災メール等で周知している。

また、要望活動は、三沢市でも市と市議会において自衛隊（基地）、東北防衛局及び防衛省へ年2回（春：10項目・秋：重点4項目）例年内容は同じようなもので行っている。

これら、補助金、交付金及び要望活動の資料など、きょう大原課長のほうから説明いただきましたとおり、お互いに情報の共有をしてこれからの施策に反映していくことを約束して研修を終了したところでございます。そのあとにつきましては、当日委員の皆さまからありました主な質疑等を載せてございますので、ご一読いただければと思います。以上です。

○委員長（荒川一秀君） ありがとうございます。よくまとめてくれました。このことについてご意見がございましたらお願いいたします。

○議長（市村文男君） 周辺対策事業一覧表をよくまとめていただきまして、ありがとうございます。これ急にわたし行けなくなって前の小比類巻議長のときに農業用機械に対する助成事業大雑把な話は聞いていたんですが、資料を送るよといっていてそのままになっちゃったので、大原課長にそのときをお願いしていた経緯があるので本当にありがとうございました。これについて調べていただければ有難いなど。小美玉市でも何とかあれば本当に有難いと思います。きょう午後1時頃矢口部長と厳しい話もしてまして、何とかこういうものがうまく対象になれば有難いと思っていますのでよろしくお願いします。

○産業経済部長（矢口正信君） わたしもこの資料を見させていただきまして、第8条の中に農・漁業施設の整備が可能だということがございましたので、小美玉市としても共同利用の機会等に取り組む必要があろうかと思っておりますので、この辺勉強させていただきたいと考えております。

○委員長（荒川一秀君） 部長三沢市のほうにもっと突っ込んで経過を聞いてもらって、これが小美玉市でも活用できるのかどうか、補助金対策になってくるのか農業用機械に対してその辺のところ継続で調べていただければと思います。

ほかにはございますか。

ないようですので、視察研修報告につきましてはこのような報告書でよろしいですか。

「はい」の声あり

○委員長（荒川一秀君） それでは、この旨を議長のほうに報告させていただきます。

ほかにはございますか。

ないようですので、その他に移ります。



4. その他

○委員長（荒川一秀君） 次に、その他について議題といたします。

ないようですので、以上で協議を終了し副委員長のほうに変わります。

○副委員長（植木弘子君） それでは、お疲れさまでした。以上で百里基地・茨城空港対策特別委員会を閉会といたします。ご苦労さまでした。

午後 15時48分 閉会